

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「インベスコ ジャパン・エンタープライズ・オープン」は、このたび、第17期の決算を行いました。

当ファンドはわが国の中小型株式を実質的な主要投資対象とし、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



インベスコ
ジャパン・エンタープライズ・オープン
追加型投信／国内／株式



| 第17期末 (2017年4月27日) | |
|--------------------|---------|
| 基準価額 | 35,273円 |
| 純資産総額 | 706百万円 |
| 第17期 | |
| 騰落率 | 11.9% |
| 分配金(税込み)合計 | 300円 |

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンド一覧」等から運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

交付運用報告書

第17期

(決算日 2017年4月27日)

作成対象期間 (2016年4月28日～2017年4月27日)

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

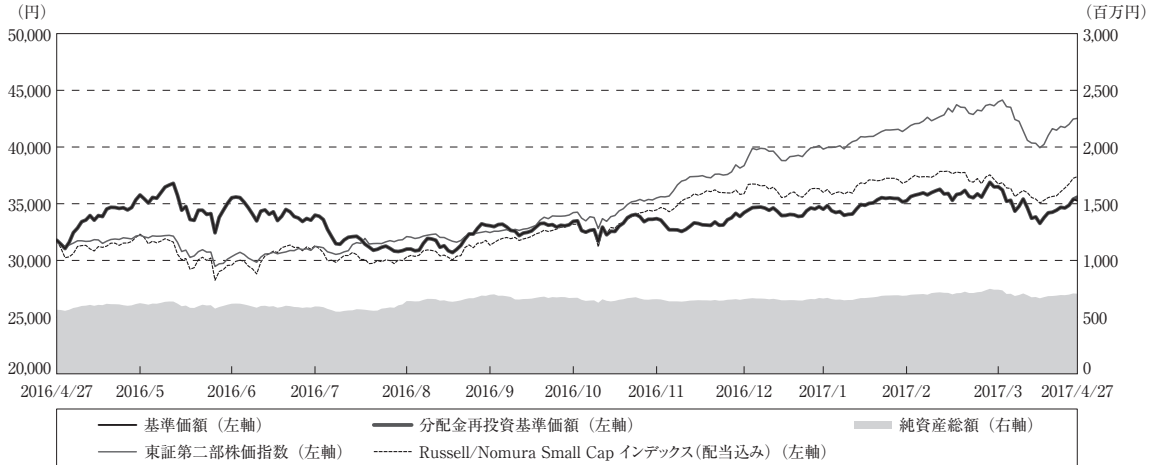
お問い合わせダイヤル：(03)6447-3100
(受付時間：毎営業日の午前9時から午後5時)

ホームページ <http://www.invesco.co.jp/>

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2016年4月28日～2017年4月27日)



期首：31,780円

期末：35,273円 (既払分配金(税込み):300円)

騰落率： 11.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額、東証第二部株価指数およびRussell/Nomura Small Cap インデックス(配当込み)は、期首(2016年4月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 参考指数は、2016年7月26日以降、Russell/Nomura Small Cap インデックス(配当込み)です。2016年7月25日までは、東証第二部株価指数をベンチマークとしていました。参考指数およびベンチマークの詳細は11ページをご参照ください。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・わが国の中小型株式を実質的な主要投資対象としているため、英国の欧州連合(EU)離脱決定や米国大統領選挙の影響から下落する局面はあったものの、期を通じてみると新興市場を中心に株価が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。
- ・安定的な利益成長が予想される企業や、新しい技術・サービスで高利益成長が期待される企業に投資した結果、M&Aキャピタルパートナーズ、ブイ・テクノロジー、ネクステージなどの株価の上昇がプラスに寄与しました。

[下落要因]

- ・業績見通しが市場見通しを下回ったダブル・スコープやディー・エル・イーなどの株価が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

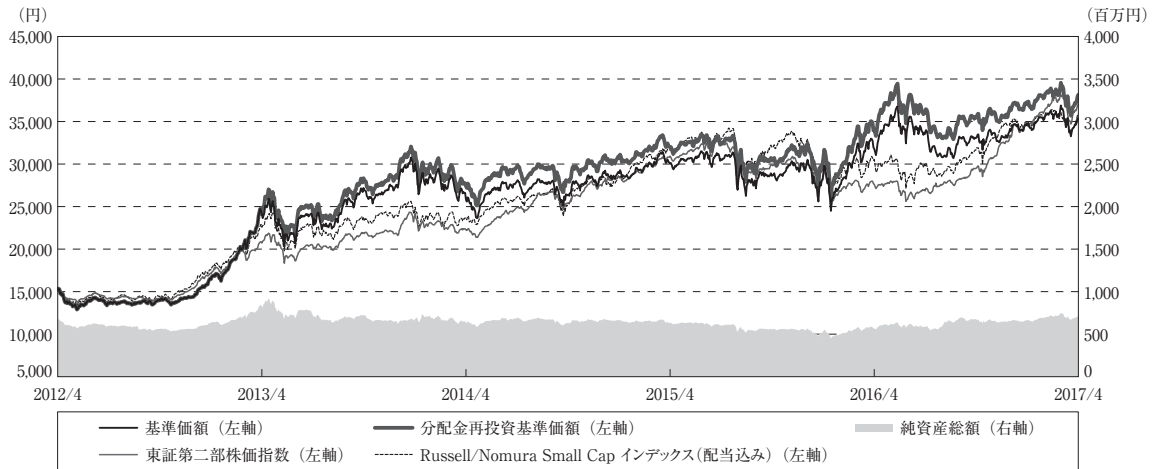
(2016年4月28日～2017年4月27日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|--|-------------------------------------|---|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社) | 円 625 (294) (294) (37) | % 1.836 (0.864) (0.864) (0.108) | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) | 109 (109) | 0.320 (0.320) | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (c) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他) | 20 (20) (0) | 0.060 (0.060) (0.000) | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理に要するその他の費用等 |
| 合 計 | 754 | 2.216 | |
| 期中の平均基準価額は、34,032円です。 | | | |

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2012年4月27日～2017年4月27日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額、東証第二部株価指数およびRussell/Nomura Small Cap インデックス(配当込み)は、2012年4月27日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

| | 2012年4月27日 決算日 | 2013年4月30日 決算日 | 2014年4月28日 決算日 | 2015年4月27日 決算日 | 2016年4月27日 決算日 | 2017年4月27日 決算日 |
|---|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円) | 15,372 | 23,641 | 25,798 | 30,072 | 31,780 | 35,273 |
| 期間分配金合計(税込み) (円) | — | 1,000 | 500 | 0 | 300 | 300 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | 60.3 | 11.2 | 16.6 | 6.7 | 11.9 |
| 東証第二部株価指数騰落率 (%) | — | 36.2 | 6.3 | 38.9 | △ 10.7 | 33.9 |
| Russell/Nomura Small Cap インデックス(配当込み)騰落率 (%) | — | 48.2 | 3.2 | 34.7 | △ 3.6 | 17.7 |
| 純資産総額 (百万円) | 678 | 812 | 631 | 631 | 565 | 706 |

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。
- (注) 参考指数は、2016年7月26日以降、Russell/Nomura Small Cap インデックス(配当込み)です。2016年7月25日までは、東証第二部株価指数をベンチマークとしていました。参考指数およびベンチマークの詳細は11ページをご参照ください。
- (注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

(2016年4月28日～2017年4月27日)

| | | | |
|--------------|--------|---------------------------------------|--------|
| 東証第二部株価指数 | +33.9% | Russell/Nomura Small Cap インデックス(配当込み) | +17.7% |
| JASDAQ INDEX | +20.3% | 東証マザーズ指数 | △11.1% |
| 日経平均株価 | +11.3% | TOPIX(東証株価指数) | +11.0% |

※株価指数の騰落率は当期末時点(対前期末比)の数値です。

当期の中小型株式市場は英国のEU離脱決定や米国大統領選挙をめぐる不透明感から下落する局面はあったものの、期を通じては上昇基調で推移しました。

期初より、原油価格の急落などを主因とした世界の株式市場の急落からの反動局面が続いた一方で、新興国経済の不透明感や為替市場での円高進行が上値を抑え、軟調なスタートとなりました。相対的に為替や海外要因の影響を受けにくい中小型成長株への資金シフトを受け、2016年4月には東証マザーズ指数が2016年の年初来高値を付けるなど、一部の成長株は株価が大きく上昇しましたが、6月には英国の国民投票でEU離脱が決まったことが不安視され、一時株価が急落しました。

しかし、大型補正予算への期待感などから株価が持ち直して以降、期末にかけては堅調な推移となりました。2016年8月には米連邦準備理事会(FRB)高官の発言から米国の早期利上げ観測が高まり、為替市場が円安に反転したことが株式市場を下支えしました。11月の米国大統領選挙が想定外のトランプ氏勝利となると、直後に株価が急落する場面もありましたが、新政権の経済政策への期待などから米株高と円安が急速に進んだため、日本の株式市場も大きく上昇しました。2017年1月のトランプ氏米大統領就任以降は、同氏の政策の不透明要素に注目が集まるようになりましたが、もみ合いの推移となった大型株からの銘柄物色を集めた中小型株は、底堅さを維持しました。4月には、北朝鮮などの地政学リスクの高まりなどにより下落する局面もありましたが、月末にかけて回復し、高値圏で期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2016年4月28日～2017年4月27日)

主としてインベスコ 中小型・成長株 マザーファンド(以下、マザーファンドといいます。)に投資を行い、マザーファンドを通じて、わが国の中小型株式に投資を行いました。

マザーファンドでは、安定的な利益成長が予想される企業や、新しい技術・サービスで高利益成長が期待される企業に投資を行いました。徹底したファンダメンタルズ分析に基づき、新しい成長ドライバーを得て成長力が高いと判断した銘柄への投資を中心に、ポートフォリオを構築しました。具体的には①規制緩和や成長戦略の恩恵を受けることが見込まれる銘柄、②社会インフラ整備関連銘柄、③エネルギー革命・省エネ関連銘柄、④自己変革により成長力を高めることが見込まれる銘柄一などです。

期初より、内需型ビジネスで成長力が評価されて株価が上昇し割安感が後退したと判断した銘柄や、成長期待で株価が大幅に上昇し過熱感が出てきた新興市場株などを売却し、利益を確定しました。一方で、円高などを背景に調整を続けていたハイテク関連銘柄の中で、大きな構造変化が見られる半導体関連銘柄の組み入れを引き上げるなど、ファンド内の保有銘柄の入れ替えを実施しました。

2016年11月以降は、2017年度を見据えて成長力が高いと判断した銘柄の買い増しや新規買い付けを行いました。また、新規公開銘柄にも積極的に投資を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2016年4月28日～2017年4月27日)

当期の基準価額騰落率（分配金込み）は+11.9%となり、ベンチマーク／参考指数の騰落率+17.3%を下回る結果となりました。

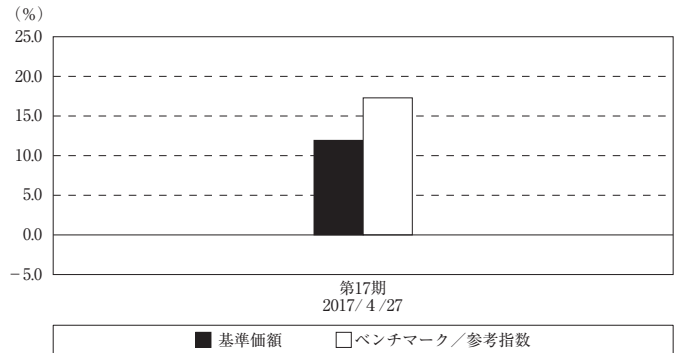
[プラス要因]

- ・個別銘柄では、ブイ・テクノロジーやM&Aキャピタルパートナーズを参考指数以上の組み入れとしていたこと、参考指数非採用銘柄であるネクステージの組み入れなどがプラスに寄与しました。
- ・業種別では、「精密機器」「金属製品」の銘柄選択などがプラスに寄与しました。

[マイナス要因]

- ・個別銘柄では、ヨネックス、ダブル・スコープ、あいホールディングスを参考指数以上の組み入れとしていたことなどがマイナスに影響しました。
- ・業種別では、「化学」「卸売業」の銘柄選択などがマイナスに影響しました。

基準価額とベンチマーク／参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) 参考指数は、2016年7月26日以降、Russell/Nomura Small Cap インデックス（配当込み）です。2016年7月25日までは、東証第二部株価指数をベンチマークとしていました。参考指数およびベンチマークの詳細は11ページをご参照ください。

(注) ベンチマーク／参考指数の騰落率は、2016年7月25日までは東証第二部株価指数の騰落率を、2016年7月26日以降はRussell/Nomura Small Cap インデックス（配当込み）の騰落率を合成して算出しております。

分配金

(2016年4月28日～2017年4月27日)

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向などを勘案し、1万口当たり300円(税込み)とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

| 項 目 | 第17期 |
|-----------|---------------------------|
| | 2016年4月28日 ～2017年4月27日 |
| 当期分配金 | 300 |
| (対基準価額比率) | 0.843% |
| 当期の収益 | 271 |
| 当期の収益以外 | 28 |
| 翌期繰越分配対象額 | 25,273 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

主としてマザーファンドに投資を行い、マザーファンドを通じて、わが国の中小型株式に投資を行います。

マザーファンドでは、安定的な利益成長が予想される企業や、新しい技術・サービスで高利益成長が期待される企業に投資を行います。具体的には、徹底したファンダメンタルズ分析に基づき、新しい成長ドライバーを得て成長力が高いと判断した銘柄への投資を中心に、ポートフォリオを構築します。

今後の株式市場は底堅い展開を予想しています。2017年4月下旬から2017年3月期の決算発表が始まりましたが、2017年1月～3月期は前四半期から増益となるケースが多く確認されました。2017年度については事前予想よりも増益率が低くなっていますが、為替変動を考慮した保守的な前提になっていることや、積極投資を織り込んでいるためであり、企業業績の力強さは続いていると判断しています。また、米国ではトランプ政権による減税などの景気対策が期待され、欧州では一時的に高まった保護主義的な動きが徐々に落ち着いてきていることも株式市場にはプラス要因です。地政学リスクには引き続き注意が必要ですが、株式市場のかく乱要因は減少しているとみています。

以上の投資環境の見通しの下、ファンドの運用では、成長ドライバーが明確で2017年度も高い利益成長が見込まれる銘柄群を中心とした現在のポートフォリオ戦略を維持する方針です。成長力が高い分野としては、①AI(人工知能)やIoT(モノのインターネット)などによる生産性向上に関連する分野の銘柄、②社会インフラ整備関連銘柄、③エネルギー革命・省エネ関連銘柄、④自己変革により成長力を高めることが見込まれる銘柄一などに注目しています。

お知らせ

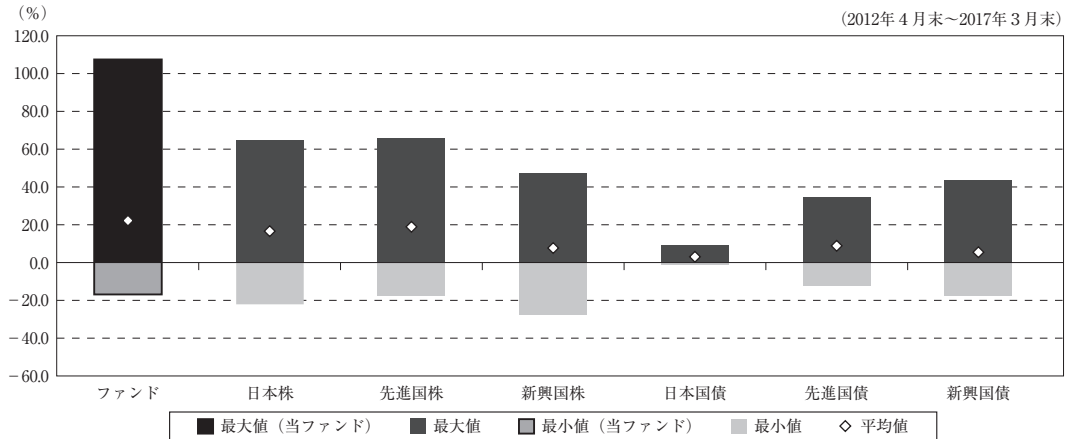
該当事項はございません。

当ファンドの概要

| | | |
|--------|--|---|
| 商品分類 | 追加型投信／国内／株式 | |
| 信託期間 | 無期限 | |
| 運用方針 | 「インベスコ 中小型・成長株 マザーファンド」受益証券を主要投資対象とし、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。 | |
| 主要投資対象 | インベスコ ジャパン・ エンタープライズ・ オープン | 「インベスコ 中小型・成長株 マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。 |
| | インベスコ 中小型・成長株 マザーファンド | わが国の金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、わが国の中小型株式に投資します。 ・安定的な利益成長が予想される企業や、新しい技術・サービスで高利益成長が期待される企業に投資します。 ・企業訪問を通じた徹底したボトムアップ・アプローチにより、銘柄を選択します。 | |
| 分配方針 | 年1回の毎決算時（原則として4月27日。同日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。 | |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

| | ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| 平均値 | 22.2 | 16.5 | 18.8 | 7.7 | 3.0 | 8.9 | 5.4 |
| 最大値 | 107.5 | 65.0 | 65.7 | 47.4 | 9.3 | 34.9 | 43.7 |
| 最小値 | -16.7 | -22.0 | -17.5 | -27.4 | -1.3 | -12.3 | -17.4 |

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2012年4月から2017年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P11の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2017年4月27日現在)

○組入上位ファンド

| 銘柄名 | 第17期末 |
|-----------------------|--------|
| インベスコ 中小型・成長株 マザーファンド | 101.8% |
| 組入銘柄数 | 1銘柄 |

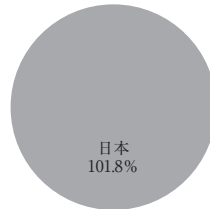
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

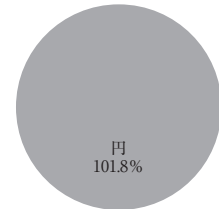
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

純資産等

| 項目 | 第17期末 |
|------------|--------------|
| | 2017年4月27日 |
| 純資産総額 | 706,594,131円 |
| 受益権総口数 | 200,318,810口 |
| 1万口当たり基準価額 | 35,273円 |

* 期中における追加設定元本額は87,843,767円、同解約元本額は65,331,200円です。

組入上位ファンドの概要

インベスコ 中小型・成長株 マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2016年4月28日～2017年4月27日)

| 項目 | 当期 | |
|-----------------------|---------------|-------------------|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料 (株 式) | 248円 (248) | 0.336% (0.336) |
| (b) その他の費用 (そ の 他) | 0 (0) | 0.000 (0.000) |
| 合計 | 248 | 0.336 |

期中の平均基準価額は、73,938円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2017年4月27日現在)

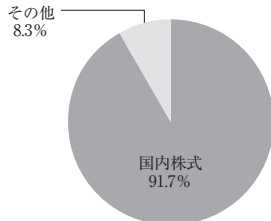
| | 銘柄名 | 業種/種別等 | 通貨 | 国(地域) | 比率 % |
|----|----------------|--------|----|-------|---------|
| 1 | ペプチドリーム | 医薬品 | 円 | 日本 | 5.9 |
| 2 | トブコン | 精密機器 | 円 | 日本 | 4.2 |
| 3 | ジャパンマテリアル | サービス業 | 円 | 日本 | 4.0 |
| 4 | イーレックス | 電気・ガス業 | 円 | 日本 | 3.6 |
| 5 | あいホールディングス | 卸売業 | 円 | 日本 | 3.2 |
| 6 | フルキャストホールディングス | サービス業 | 円 | 日本 | 3.0 |
| 7 | イオンファンタジー | サービス業 | 円 | 日本 | 2.9 |
| 8 | ネクステージ | 小売業 | 円 | 日本 | 2.7 |
| 9 | 技研製作所 | 機械 | 円 | 日本 | 2.6 |
| 10 | ヨネックス | その他製品 | 円 | 日本 | 2.5 |
| | 組入銘柄数 | | | 53銘柄 | |

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

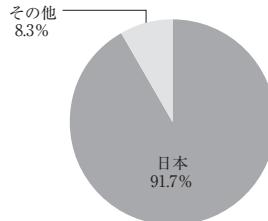
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

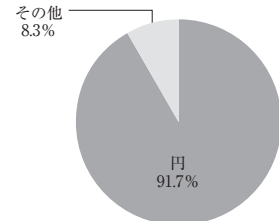
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

＜当ファンドの参考指数およびベンチマークについて＞

参考指数は、2016年7月26日以降、Russell/Nomura Small Cap インデックス（配当込み）です。2016年7月25日までは、東証第二部株価指数をベンチマークとしていました。東証第二部株価指数は、東京証券取引所第二部に上場している内国株全銘柄を対象として算出した指数で、当該指数に関する知的財産権、当該指数の算出、数値の公表、利用など当該指数に関する権利は同証券取引所が所有しています。Russell/Nomura Small Cap インデックスはラッセル・インベストメントと野村證券株式会社が作成している株式の指数で、当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はラッセル・インベストメントと野村證券株式会社に帰属しております。また、ラッセル・インベストメントと野村證券株式会社は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

○TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

TOPIXは、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄の株価を対象として算出した指数です。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

○MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

○NOMURA - BPI国債

NOMURA - BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数で、著作権、商標権、知的財産権、その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

本指数は、信頼性が高いとみならず情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2017, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.